

報告書の概要（ホームページ掲載用）

第10班

1. タイトル：地方自治体の抱える借金の改善に向けての研究
～住民とのかかわりから考える借金減少に向けたきっかけづくり～
2. 報告書の概要：今後、地方自治体が借金を減らしていくためには、増税等により、住民に負担を求めることや歳出面での住民サービスの引き下げも必要となってくる。これを行うには、これまで以上に住民の協力や理解が必要になる。この点に着目し、「住民とのかかわり」の観点から研究を行った。住民アンケート調査、自治体財政職員アンケート調査及び実地調査の結果から、借金を減らすためのポイントを抽出し、次の提言を行った。①借金状況の格付けの実施、②情報媒体の特性を活かした広報の推進、③格付けに応じた借金減少策の発動。また、麗澤県という仮想の自治体をモデルとして提言1～3に基づく具体的な取組みを示した。
3. 引用している事例：①福岡県福智町（法に基づく財政再建）、②大阪府（財政運営基本条例）
4. アンケート調査の有無：有